

棚POWER[®] 2015 (Ver5.00) 10月下旬出荷予定

最新バージョンの棚POWER 2015 Ver 5.00 の出荷を10月下旬に予定しております。
出荷日など詳細は追ってお知らせいたします。最新の棚POWERを今しばらくお待ちください。

分析検証機能のご紹介

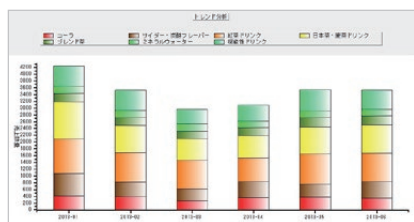
前号（Vol.116）では主に POS データ登録方法のご紹介をしました。
Vol.117 では登録した POS データを使用して分析検証グラフを表示させて棚割を分析する方法を一部ご紹介させていただきます。

事前準備

1. [棚割操作]－[開く] より、分析したい棚割モデルを開きます。
2. [棚割操作]－[分析設定] を選択します。
3. 売上情報（分析）を有効にして、一覧より使用する売上情報を選択して設定します。
4. [棚割操作]－[分析検証] をクリックします。

売上動向をチェック（トレンド分析）

メーカーや品種などの分類単位で対象期間の売上動向を積上棒グラフで確認できます。例えば、1 年間分の売上を月ごとに表示させることによって、各分類のよく売れる時期 / 売れない時期を一目で確認できます。



（トレンド分析は月 / 週管理の売上情報で、分析設定にて分析期間を設定する必要があります）

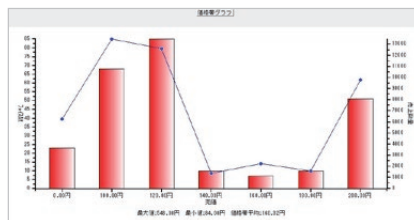
手順

1. [グラフ]－[トレンド分析] を選択します。
2. [設定]－[グラフ設定] を選択します。
3. 出力値を選択して設定します。

※棒グラフを選択すると帰線が表示されるため、上昇 or 下降トレンドなのかを確認できます。

価格帯別の陳列と売上をチェック（価格帯グラフ）

陳列商品を価格帯ごとにグループ分けして、陳列ボリュームと売上のバランスを棒グラフと折線グラフで確認できます。「陳列ボリュームは多いが売上が低い価格帯」や「陳列ボリュームは少ないが売上が高い価格帯」などがグラフより確認できるため、カット候補商品や拡販候補商品の発見に役立ちます。



手順

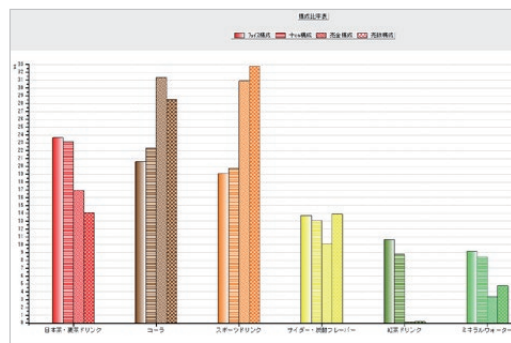
1. [グラフ]－[価格帯グラフ] を選択します。
2. [設定]－[グラフ設定] を選択します。
3. 出力値を選択して設定します。

※棒グラフをクリックすると選択された分類に含まれる商品を確認できます。

陳列と売上のバランスをチェックする

～構成比率表～

メーカーや品種などの分類単位での陳列スペースや売上結果が棒グラフで表示されます。「フェイス構成」や「+ cm 構成」といった陳列の棒グラフと、「売数構成」や「売金構成」といった売上の棒グラフを同時に表示させることで簡単に比較することができ、陳列スペースの取り方が適正なのかを判断できます。



手順

1. [グラフ]－[構成比率表] を選択します。
2. [設定]－[グラフ設定] を選択します。
3. 出力値と出力項目を選択して設定します。

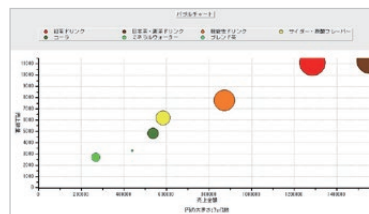
※棒グラフをクリックすると、選択された分類に含まれる商品を確認できます。

ドリルダウン

棒グラフを[右クリック]－[ドリルダウン]で別分類を選択して視点を変えることも可能です。（特定品種のメーカー別シェアを確認するなど）

～バブルチャート～

縦軸、横軸、バブルの大きさで分類単位での陳列と売上のバランスを確認できます。例えば、各軸に「売上数量」や「粗利益」を設定すると客寄せ商品や売上貢献度を測ることができるグラフになります。表示されたバブルの位置から客寄せ効果を発揮している分類（発揮していない分類）や売上貢献度の高い（低い）分類を確認できます。また、バブルサイズを使用して陳列スペースの比率も把握できるため、次回棚割に陳列する商品のフェイス数の増減を検討する場合などに役立ちます。



手順

1. [グラフ]－[バブルチャート] を選択します。
2. [設定]－[グラフ設定] を選択します。
3. 出力値を選択して設定します。

※円グラフをクリックすると選択された分類に含まれる商品を確認できます。

サポートセンターをご利用ください

受付時間 10:00 ~ 12:00
13:00 ~ 17:00

 TEL

0120-987-571

 FAX

06-6821-2572

MAIL

tp-support@cyber-l.co.jp

よくあるご質問コーナー



Q. バブルチャートでは分類単位で陳列と売上のバランスが確認できますが、商品単位でそれを確認する方法はありますか？



A. 分析検証には「散布図」という機能があります。
散布図は縦軸と横軸の2つの軸を使用して、各商品の位置付けを確認できるグラフになります。

事前準備

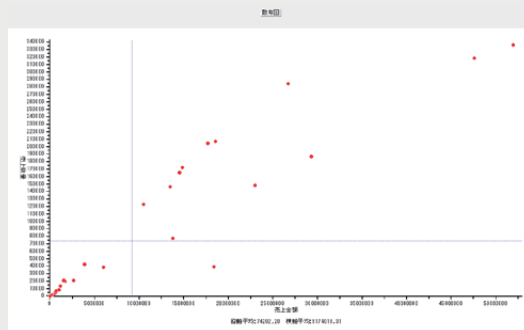
1ページ目(表面)に記載している「事前準備」と同じ作業を行います。

設定手順

1. [グラフ]—[散布図] を選択します。
2. [設定]—[グラフ設定] を選択します。
3. 出力値を選択して設定します。

活用例

縦軸と横軸の設定によって、様々な視点で
棚割の課題発見に役立てることができます。



※ドラッグで範囲指定した中に含まれる商品を一覧で表示します

売上数量 × 売上金額	売上貢献度や客寄せ機能の高い商品（低い商品）を確認できます。
売価 × フェイス数	どの価格帯に陳列ボリュームが集中しているかを確認できます。
粗利率 × 回転率	粗利率や回転率の高い商品（低い商品）を確認できます。



Q. 商品の品揃え状況を確認できるグラフはありますか？
また、表示結果をExcelに出力する方法も教えてください。



A. 分析検証には「マトリクス分析」という機能があります。
縦軸と横軸でクロスしたマトリクス表を表示させて、取扱商品に偏りや漏れがないかを確認できます。

設定手順

1. [グラフ]—[マトリクス分析] を選択します。
2. [設定]—[グラフ設定] を選択します。
3. 出力値と出力項目を選択して設定します。

出力手順

1. [出力]—[ファイル] を選択します。
2. 出力時のファイル名を入力します。
3. ファイルの種類を選択します。
4. 保存先を選択して実行します。

[illegible]

棚POWER事業室専用サイトでもよくあるご質問を公開しています。操作中にエラーが出た場合や不明点があればご活用ください。

棚POWER® Q&A

<http://faq.tanapower.com/>

[棚POWER事業室専用サイトトップ](#) >> [ユーザーサポート](#) >> [Q&A\(よくあるご質問\)](#)

棚POWERをご契約いただいている正規ユーザー様のみ、棚POWER事業室専用WEBサイトにて「棚POWERインフォメーション」のPDFを閲覧・ダウンロードしていただけます。

正規ユーザー様のみに、閲覧に必要なユーザー ID とパスワードをお伝えしています。

棚POWER 2015について

次期バージョンとなる棚POWER 2015では、ご紹介したトレンド分析が単品単位で出力できるようになり、ハイライト分析で台ごとの分析を行えるように機能を改善する予定です。これまで以上に操作し易いシステムを目指して開発を進めておりますのでご期待ください。